

シリーズ
教育
No.12

教育の窓

11月

社会教育・生涯学習

学校教育以外の教育を社会教育と呼んでいます。社会教育は生涯を通して学ぶ機会を設け、生き生きとした人生を送ることや、青少年の健全な生活を支援する活動、さらには文化財の保護、さまざまな文化活動などを通して社会全体が地域で生きる源泉となることを目指しています。生涯学習の機会となるさまざまな公民館講座等では、多くの方が受講生となり、さらには指導者となってみえます。現在、町全体(ファミリーセンター(中央公民館)や各出張所)で合計35の講座が実施されております。みなさまのご参加の機会を持たれることを願っております。なお、八百津町には社会教育委員が7名で社会教育についての論議をしています。

<活動紹介>

生涯学習講座として活動されている土練りの会は、毎週火曜日、和気あいあいとして陶芸に取り組んでいます。本年度は作品展示に挑戦し、2階のスペースでテーマを決めた展示もしています。



社会科課題追求学習作品で優秀賞

八百津小学校4年 渡邊智也さん

「僕のお米研究所～お米のすごさとひみつ」

岐阜県教育委員会が学力向上推進事業として実施している社会科課題追求学習作品展(県内で2552作品応募)において見事優秀賞(10名)に入賞されました。



菊薫るファミリーセンター玄関

今年もファミリーセンター玄関に美しい菊の花が並びました。三本仕立てと福助作りの大輪の菊がお客様をお迎えしているような雰囲気を持っています。

この菊は毎年須賀の岩井喜久男様のご好意で提供いただき飾っております。



立志のつどい・乗鞍丸黒登山

10月19日(水)ファミリーセンター大研修室において、町の立志式が開催されました。今年度の中学校2年生は、八百津中学校85名、八百津東部中学校11名の96名です。

各校代表による意見発表では自分自身の体験や社会の出来事から考えを深め、そこから学んだことを堂々と表現しました。また2校の合同合唱「時の旅人」は、96名の心を合わせた力強い歌声でした。

その後、高山市にある乗鞍青少年交流の家へと場所を移し2泊3日の研修をしました。メインは、乗鞍岳を望む丸黒山への登山です。2000m程の山ですが、アップダウンが多く、変化に富んだ道が続きます。仲間たちと声を掛け合いながら、長い長い「ガンバル坂」と「根性坂」を越えると頂上付近にすばらしい展望が開けました。穂高連峰、焼岳。岐阜県の独立峰「笠ヶ岳」も美しい姿を見せてくれました。

この日の夜には、保護者からの手紙を灯火で読み、感謝の気持ちを伝える手紙も書きました。

この研修で得た財産をこれからの学校生活や家庭生活に活かし、社会の一員として自覚を持って行動してほしいと願っています。

